

からこそ英雄にふさわしいと私は思った。この地獄を出世とみなすような人間には誰もこ の国を託したくないだろう。 "ecn"と呼びかけたとき、目の前がくらっとした。 「あれ?」と思ったが早いか、私は地面に突っ伏しそうになつた。 意識が飛ぶ寸前、喉に抱きかかえてくれる遅しい腕を感じた。

269